

「山の桜と庭先の牡丹」(キョウ言)

家の近くにソメイヨシノの樹がある。満開を過ぎ葉桜と散りゆく花びらのコントラストが風情を醸し出す。目を我が家の庭に移すと牡丹のきりとした蕾が凜と佇んでいる。花が咲くためには蕾を作ることが必要である。なんと春に咲く桜の蕾も開花する前の年の夏7から8月につくられる。その蕾が厳しい風雪に耐え私たちの心に潤いを届けてくれる。自然の恵みに感謝。さらに欲張りなことに半月後に咲くであろう大輪の牡丹の花との出会いを楽しみにしている。人間も生き物である。「風雪」が大事。

